資料２－８
関東地方整備局
事業評価監視委員会
（平成19年度第4回）

一般国道１号　新湘南バイパス

（　再　評　価　）

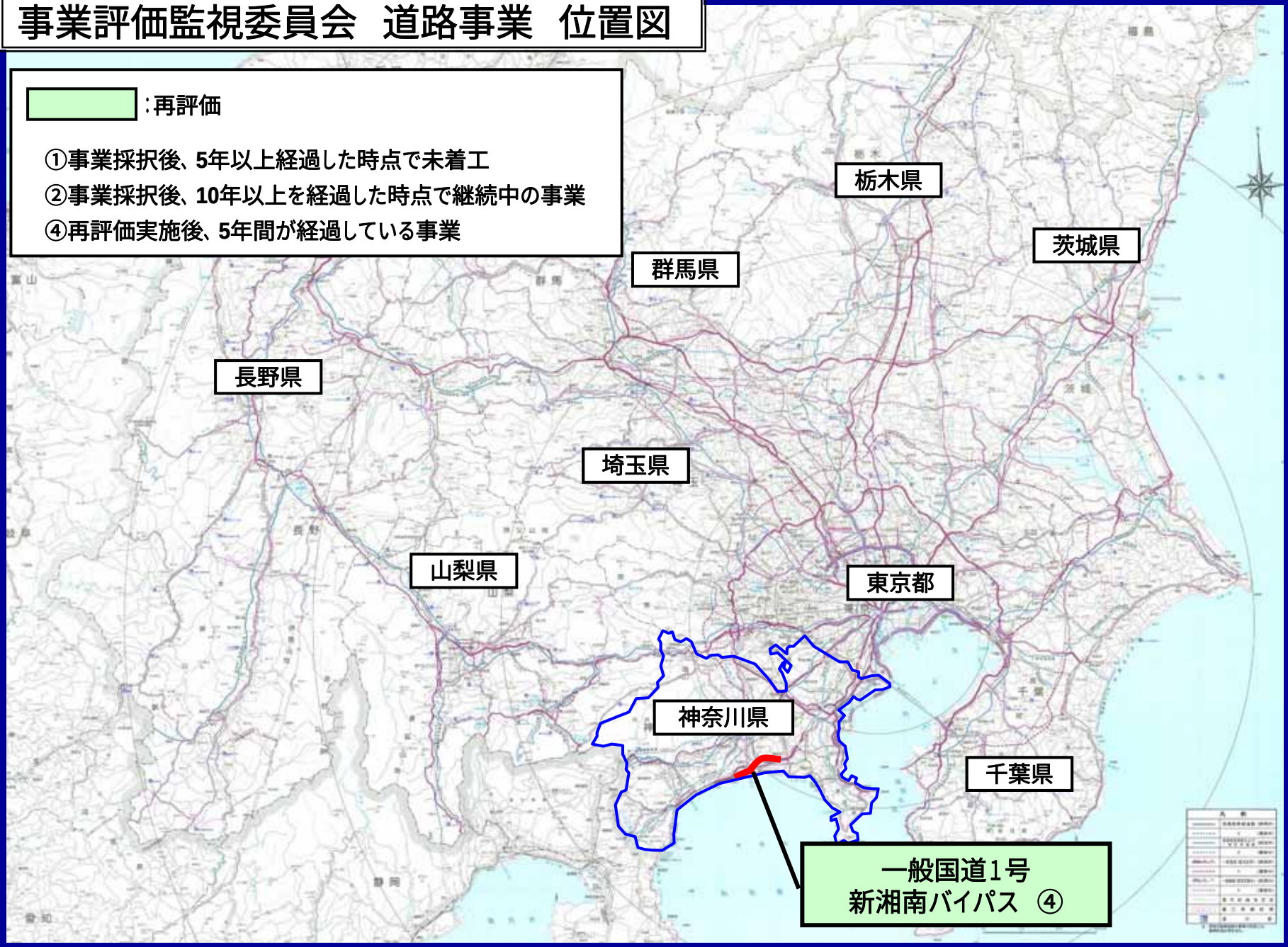
平成２０年1月２３日

関東地方整備局

事業評価監視委員会　道路事業　位置図

：再評価

①事業採択後、5年以上経過した時点で未着工
②事業採択後、10年以上を経過した時点で継続中の事業
④再評価実施後、5年間が経過している事業



1．事業の目的と計画の概要

⑴ 目的

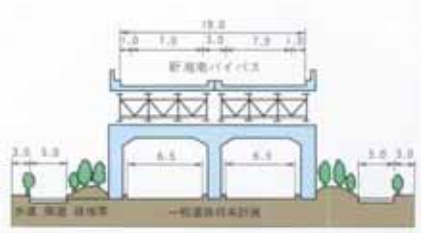
・広域幹線道路網の形成
・交通混雑の緩和

⑵ 計画の概要

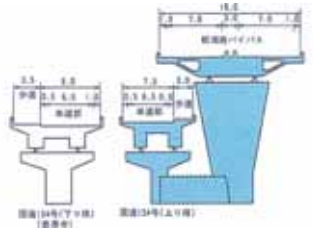
区　間　自）神奈川県藤沢市城南三丁目
　　至）神奈川県中郡大磯町大磯
車線数　4車線
規　格　第1種第3級（V＝80km/h）
事業化　昭和60年度（茅ヶ崎西IC～大磯IC(仮称)）

標準横断図

藤沢IC～茅ヶ崎中央IC

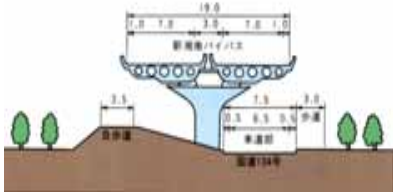


相模川横断部



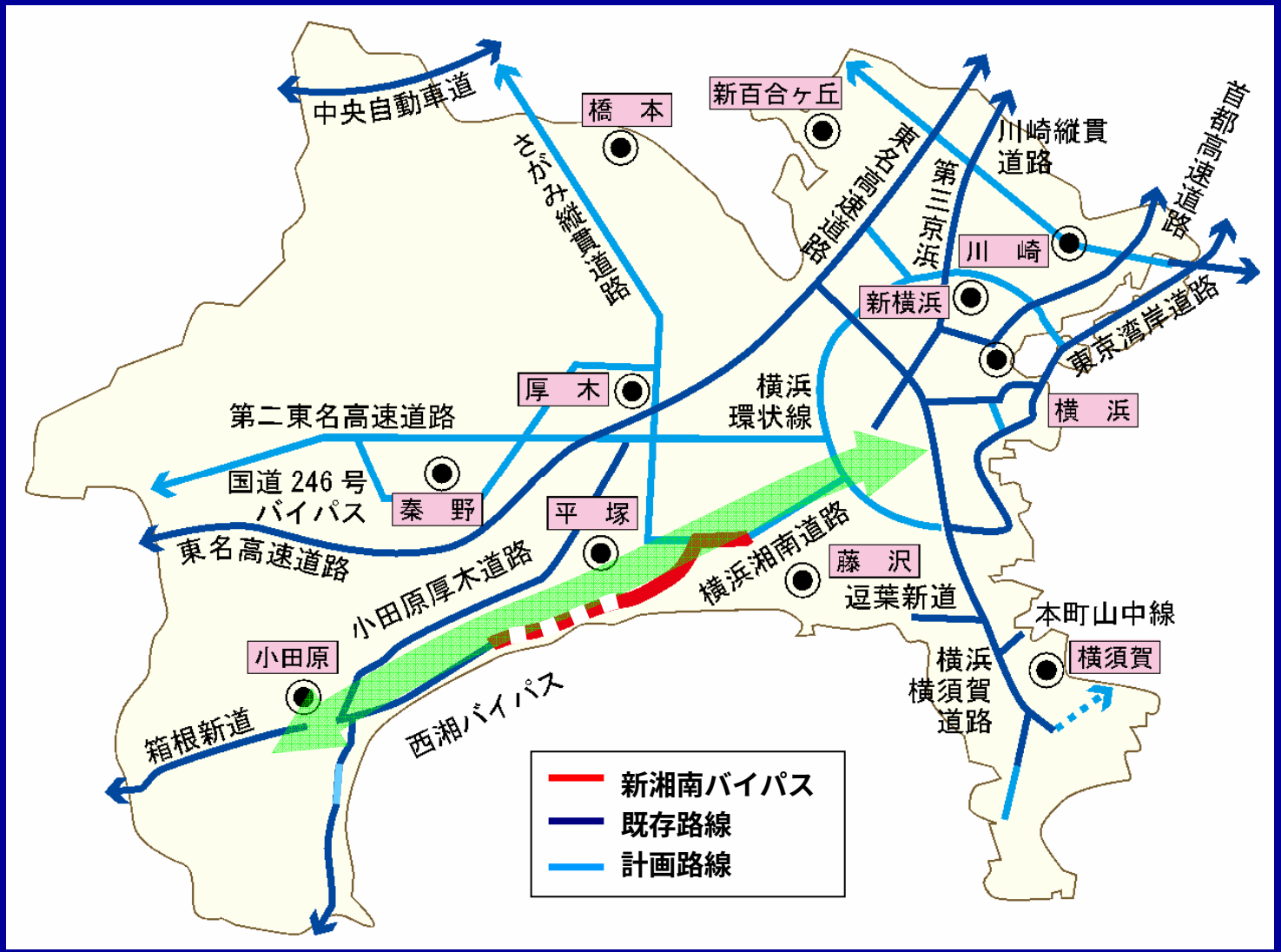
相模川右岸～一般国道129号

平塚IC（仮称）～金目川（花水川）



2．事業の必要性に関する視点

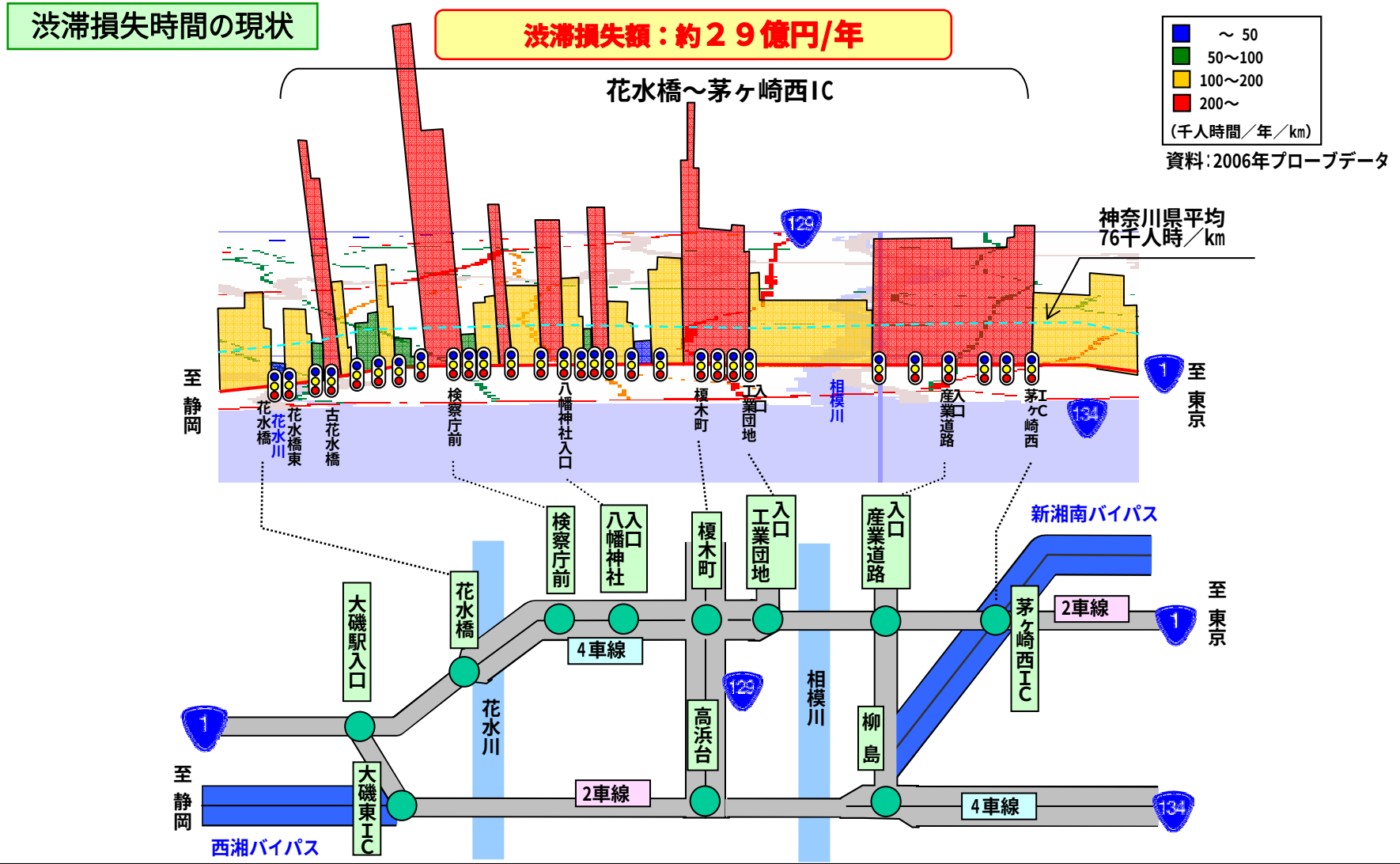
・新湘南バイパスは当該地域の広域幹線道路網を形成しており、再評価区間の整備によって横浜湘南道路と西湘バイパスとが結ばれる。



2．事業の必要性に関する視点

・再評価区間に並行する一般国道1号では渡河部や車線数の減少（4→2車線）などにより、県平均に比べて渋滞しており、渋滞損失額は約29億円／年。

渋滞損失時間の現状

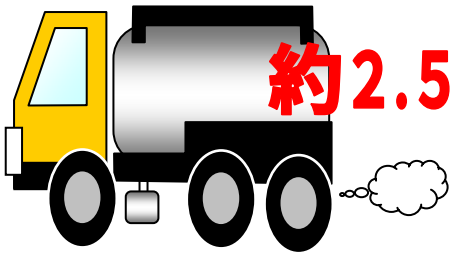


2．事業の必要性に関する視点

×約２８倍

CO2・・・年間約４，６８０t-CO2削除

（森林約442haの二酸化炭素吸収量に相当）
（日比谷公園（約16ha）の面積の約２８倍に相当）



約2.5万台

NOx・・・年間約7.6t削除

（東京都を走行する大型車に換算すると
約2.5万台に相当）

約4.0万本

SPM・・・年間約４.０t削除

（500mlペットボトル約40,000本分に相当）

3．費用対効果

■便益

	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	合計
基準年における現在価値(B)	1,076億円	98億円	45億円	1,219億円

■費用

	改築費	維持管理費	合計
基準年における現在価値(C)	468億円	33億円	501億円

■算定結果

B／C	1,219億円（総便益） 501億円(総費用)	2.4

注1）費用及び便益額は整数止めとする。
注2）費用及び便益の合計額は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

４．事業進捗の見込みの視点

・事業の経緯

（茅ヶ崎西IC～大磯IC（仮称）間 L＝6.7km）

S60年度　　事業化

S63年　9月　都市計画決定

H　7年12月　L=1．2km供用（茅ケ崎西IC～茅ケ崎海岸IC）

H17年　3月　相模川渡河部（国道134号4車線化）着手

用地取得率：約30%
（未供用区間5.5kmの面積ベース
内訳　茅ヶ崎海岸IC～国道129号　74%
国道129号～大磯IC　0%）

4．事業進捗の見込みの視点

		茅ヶ崎海岸IC～国道129号 用地着手												茅ヶ崎海岸IC～国道129号 工事着手					
年度		H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
用地	茅ヶ崎海岸IC～国道129号	3%	4%	10%	19%	24%	26%	49%	60%	68%	71%	73%	73%	73%	74%	74%	74%			
用地	国道129号～大磯IC																0%			
用地	進捗率（面積）	1%	1%	3%	6%	8%	9%	17%	21%	24%	25%	25%	25%	25%	26%	26%	26%			
工事	茅ヶ崎海岸IC～国道129号																			
工事	国道129号～大磯IC																			

5．今後の対応方針（原案）

(1) 事業の必要性等に関する視点

・湘南地域は東西方向の幹線道路不足から、事業化区間と並行する国道1号および134号に交通が集中し、慢性的に渋滞が発生。
・今後、さがみ縦貫道路、高速横浜環状線、横浜湘南道路と連絡し、当該地域の広域幹線道路網を形成。
・費用対効果（B/C）は、2．4である。

(2) 事業進捗の見込みの視点

・先行整備している相模川渡河部（茅ヶ崎海岸IC～国道129号区間）においては用地買収の約74%が完了しており、支障となっていた大規模移転物件の代替地確保についても、平成19年10月に関係自治体で移転先を決定したため、工事を推進出来る見込み。

(3) 対応方針（原案）

・当事業は継続が妥当。
・先行整備している相模川渡河部（茅ヶ崎海岸IC～国道129号区間）の工事を推進し国道129号～大磯ICについても整備できるように地元調整を進める。